

連続講座「国民教育からの脱出」 第4回「ここがヘンだよ日本の教育」

2002年10月 大阪教育合同労働組合

グローバル化の進展に伴って、国民国家の存立基盤が切り崩されている。このことから、国家は教育の再編に乗り出してきた。日本国家は、戦後進めてきた「国民教育」を根本的に転換させる必要を訴えている。

他方、国家の教育権に対抗して、「国民」の教育権を主張して進められたきた「戦後民主教育」は、グローバル化を前にして立ち往生しているとも言える。文部科学省が言う「社会の大きな変化に対応した教育」について、「戦後民主教育」の側も積極的な提言を出せていない。

こうした状況を前にして、教育に携わる労働者が参加する労働組合である教育合同は、教育状況の分析、「社会の大きな変化に対応した教育」についての問題提起・提言を行ってほしいと思う。

そのための一つの試みとして、「国民教育からの脱出」を課題にして、1年間をかけて研究・議論を開始した。それは、<資本制社会にあって国民教育とは何であったのか>、<経済のグローバル化段階で、国民教育は限界に突き当たったのではないか>、<国民教育の限界は、教員に無力感をもたらしていないか>、<本来教育という仕事が好きな教員が生き生きとなる教育とは何か>という問題意識から取り組むものである。

すでに3回の講座が終わり、第4回目は欧米と日本の教育の比較を行う。第4回目はシンポジウム形式で行い、教育関係者・市民にも開かれたものとする。テーマに関心のある方の参加を歓迎する。

1回目 済	5月11日(土) 13時~17時	「国民をつくる教育」 - 国家による国民形成の理論 -	山下恒生	組合 事務所
2回目 済	7月13日(土) 13時~17時	「日本における国民教育の歴史」 - 日本国民国家の国民教育 -	竹林 隆	組合 事務所
3回目 済	9月14日(土) 13時~17時	「国民教育亜流としての部落解放教育」 - 国民教育論と解放教育論の差異 ・同一性 -	島田雅夫	組合 事務所
5回目	1月11日(土) 13時~17時	「国民教育からの脱出」 - 国民教育に代わる教育とは -	未定	組合 事務所

	日時	テーマ	報告者	場所
4回目	11月9日(土) 13時~17時	「比較国民教育 - 欧米と日本」 - ここがヘンだよ日本の教育 -		府立 東淀川 高校
		パネリスト ・ループ・レッドフィールド (大学教員) ・ラルフ・ファミユラロ (大学高校教員) ・アンソニー・フォス (中学校ALT) ・デイヴィッド・バンデイ (保護者・大学教員)		

